

一級自動車工学科

2024年度

授業計画

時期	4年A巡	単元	実習	教科名	総合実習	
科目	自動車整備作業	教科書等 持参品	「定期点検作業要領書」テキスト グローブ、ゴーグル等安全保護具		発行日	2024年4月1日
総時限	88時限		教科担当	原田/滝波 坂詰/鈴木	● ■ ● ■	

1. 実務経験のある教員による授業科目 該当

自動車販売会社で自動車整備士として定期点検整備、定期点検整備付随作業の実務経験がある教員により、作業方法、良否判定、各種整備機器の取り扱いについて指導する。

2. 教科の目的（この教科の狙い、目的を明確に記入）

自動車販売会社において自動車整備士として必要な整備技術・知識・仕事の流れを習得する。
日産販売会社において現在販売されている車両についての知識を修得する。

3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）

- ・確実な新車無料点検、法定12ヶ月定期点検作業を身につけて、新人のフォローが出来る。
- ・標準的なご用命事項の法定12ヶ月定期点検を定めた基準時間内で作業を完了でき、他メンバーの指導、支援ができる。
- ・点検方法（作業手順）を要領書として作成できる。（下級生に指導する事を前提とした内容である事）
- ・各車種の正しい定期点検方法を知っており、その点検方法の意味を正しく理解し、良否の判断基準を明確にイメージして作業することが出来る。
- ・各点検項目の必要性を理解する。
- ・点検の結果、否と判断した項目の部品交換や簡単な付随作業ができる。
- ・自動車についての基礎的な知識を、人に説明が出来る程度に持っている。
- ・車種毎に新車1ヶ月無料点検及び新車6ヶ月無料点検の効率の良い手順を考え、同点検を実施することができる。
- ・日産車の車両型式から車両をイメージできる。
- ・日産販売会社で扱っている主なサービス商品の名称、特長、施工方法を知る。

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）

・実技試験の得点と実習レポート評価（割合：実技試験点・70%、レポート評価点・30%）

合格基準：70点以上で合格

評価の種類：『優』・『良』・『可』（履修）、『未』（未履修）の4段階で評価

評価基準：80点以上…『優』、70点以上…『良』、70点未満…『未』（未履修）

再試験で合格した場合は得点に関係なく…『可』

再試験不合格の場合、学校長の権限により判定試験を実施し、合格の場合『可』

<出題試験項目>

- ① 実技試験：70点（法定12ヶ月点検・不具合設定）
- ② レポート課題：30点（作業手順書の作成）

5. 準備学習

- ・1年次の実習「1年点検」を復習しておくこと。
- ・「定期点検作業要領書」テキスト4頁<厳しい使われ方の条件>、同5～18頁・点検整備方式(自家用乗用)、
「日常点検」「自家用乗用12か月基本」「同・距離」「同・シビア」インデックスのある各頁の内容を確認しておくこと。

※ ■ ⇒ 日産資格保持者

※ ● ⇒ 実務経験がある教員

一級自動車工学科		2024年度		授業計画	
時期	A巡	単元	実習	教科名	総合実習
7. 安全 (KYのため必ず授業内で説明)					
番号	作業名	遵守事項		災害事例	チェック
1	リフト操作時	安全確認、声だし、目を話さない		車両落下、車両破損	
2	エンジン始動時	運転席に座り、ドアを閉め、パーキングブレーキを引き、ニュートラル確認、ブレーキを踏み、安全確認及び声出しをして、始動する		車両の暴走により、机と衝突 作業中の作業者の巻き込み事故	
3	作業全般	回転部分への巻き込み防止		ベルト、駆動系への巻き込み事故	
4	タイヤ回転時	絶対にホイールのスポークを持って作業しない		ディスクとパッドのすき間点検時に、スポーク部を持ってタイヤを回転させた為、ホイールのスポークとブレーキキャリバの間に指を挟まれ、粉碎骨折	
5	冷却水の量点検	エンジン暖機時にラジエータキャップを開けない		火傷	
6	ベルトの緩み損傷点検時	イグニッションキーは必ずOFFにする ラチェットハンドルを使用する		最悪の場合、エンジン始動の恐れあり スピナを用いていた為、ケッチンを食らって裂傷	
7	下回り点検等	グローブ、ゴーグル等保護具を必ず着用する		目に異物混入（最悪の場合失明） 手の裂傷	
8	その他	エアホース、リフト操作リモコンは静かに戻す		人に当たったり、破損の原因になる	
9	車両移動	必ず誘導する 誘導時は車の真正面、真後ろに立たない		事故防止 暴走時の防衛	
※ 新型コロナウイルス等感染症対策 対応					
1	授業中・休憩中の感染症対策対応	授業中・休憩中、マスクを常時着用 人との距離を取り適宜マスクを外す、水分補給		飛沫等による各種感染症 熱中症	
2	実習中の感染症対策対応	人との密接に配慮し、距離をとる (1m以上Must)		飛沫等による各種感染症	
3	実習中の感染症対策対応	安全確認の声出し以外は、私語は慎む		飛沫等による各種感染症	
4	実習中の感染症対策対応	車内作業時、車両の窓は全て全開で作業 単独で乗車し、複数人で乗車しない		飛沫等による各種感染症	
8. 授業レイアウト (写真の貼り付けも可)					
実習場			座学教室		
第1実習棟④ K13 10台 第1実習棟① エアコンフィルタ脱着 第1実習棟② システム商品 (ウインドウ撥水12ヶ月) 施工 第1実習棟③ / 11教室 新車無料点検 / 補機ベルト張力点検 第2実習棟① ZA1 10台			12教室 (最大27名)		